

三重県内経済情勢 (平成 21 年 12 月の指標から)

県内経済は、厳しい状況が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる（生産は持ち直している。個人消費は弱い動きの中にも、持ち直しの兆しがみられる。雇用情勢は厳しい状況が続いている）。

1. 概況

(生産)

鉱工業生産指数は3か月連続で上昇し【図1】、鉱工業製品在庫指数も4か月ぶりに上昇した。

(消費)

大型小売店販売額（既存店調整値）は前年同月を1年5か月連続で下回った。【図2】

コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の5県）は7か月連続で前年同月比減となったが、家電販売額（中部8県）は5か月連続で前年同月比増となった。

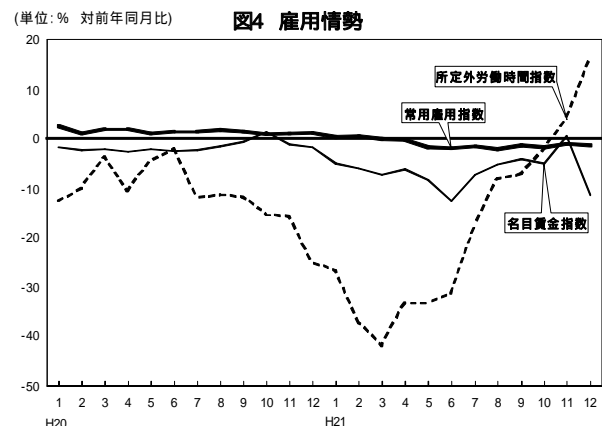
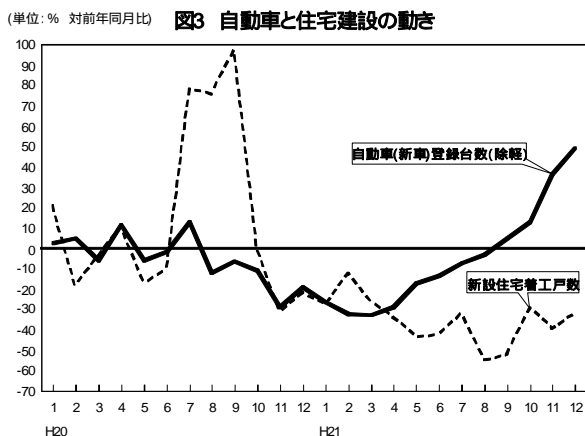
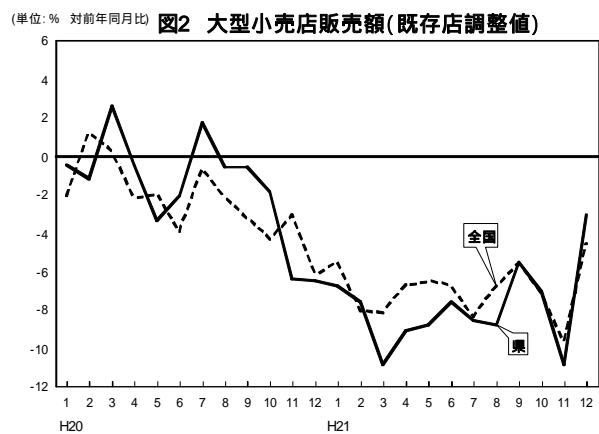
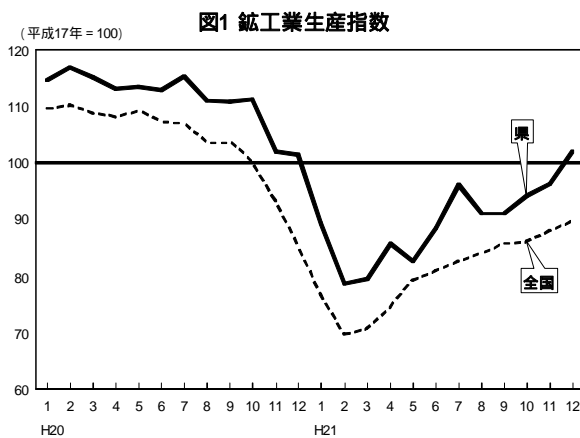
自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は4か月連続で前年同月比増となり【図3】、軽自動車販売台数も1年2か月ぶりに前年同月比増となった。

新設住宅着工戸数は1年3か月連続で前年同月比減となった。【図3】

(雇用)

有効求人倍率は0.47倍となり、前月を0.02ポイント上回った。

所定外労働時間指数は2か月連続で前年同月比増、常用雇用指数は10か月連続で前年同月比減、名目賃金指数は2か月ぶりに前年同月比減となった。【図4】



2. 主要経済指標の動き

(1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H17=100）は101.9となり、前月比5.9%増と3か月連続で上昇した。
- ・ 県内主要3業種では、電気機械工業（旧分類）（121.7）が前月比6.7%増と4か月連続で上昇し、輸送機械工業（93.4）も前月比4.6%増と3か月連続で上昇した。化学工業（89.0）は前月比3.6%増と2か月連続で上昇した。
- ・ 鉱工業製品在庫指数（H17=100）は97.7で、前月比4.6%増と4か月ぶりに上昇した。（電気機械工業（旧分類）は、日本標準産業分類（平成14年3月改定）の「電気機械工業」「情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」をまとめたものです。）

	9月	10月	11月	12月
鉱工業生産指数	0.0	3.4	2.2	5.9
（電気機械工業：旧分類）	3.4	1.6	3.3	6.7
（輸送機械工業）	-0.2	1.8	4.9	4.6
（化学工業）	-2.4	-7.9	15.3	3.6
鉱工業生産指数（全国）	2.1	0.5	2.2	1.9
鉱工業製品在庫指数	-1.5	-6.0	-2.3	4.6

(2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月比3.1%減と1年5か月連続で前年同月を下回った。
- ・ コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の5県）は7か月連続で前年同月比減となったが、家電販売額（中部8県）は5か月連続で前年同月比増となった。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比49.5%増となり4か月連続で増加し、軽自動車販売台数も前年同月比9.8%増となり1年2か月ぶりに増加した。全自動車では前年同月比31.9%増と4か月連続で増加した。

（前年同月比：％）	9月	10月	11月	12月
大型小売店販売額（県内既存店）	-5.5	-7.1	-10.9	-3.1
〃（全国既存店）	-5.6	-7.2	-9.7	-4.6
コンビニエンスストア販売額（5県全店）	-3.1	-2.8	-4.6	-3.6
家電販売額（8県全店）	2.7	7.5	1.6	16.5
自動車（新車）登録台数（県内）	4.7	12.6	36.1	49.5
〃（全国）	3.5	12.6	36.0	36.5
軽自動車（新車）販売台数（県内）	-7.1	-8.4	-5.7	9.8
〃（全国）	-5.9	-8.9	-6.5	-0.5
自動車・軽自動車 合計（県内）	0.2	4.3	17.5	31.9
〃（全国）	0.2	4.4	18.3	21.6

(3) 住宅建設

- ・ 新設住宅着工戸数は943戸となり、前年同月比32.0%減と1年3か月連続で減少した。

（前年同月比：％）	9月	10月	11月	12月
新設住宅着工戸数	-52.1	-29.8	-39.5	-32.0
（参考）（持家）	-28.5	-9.3	13.8	-3.5
（貸家）	-66.3	-38.9	-69.4	-50.9
（分譲住宅）	-69.3	-38.3	-68.7	-49.0

(4) 公共工事受注（1件500万円以上の工事：発注者別請負契約額）

- ・公共機関からの建設工事受注工事額は109億9千1百万円となり、前年同月比107.6%増と4か月連続で増加した。
- ・「国の機関」からの受注工事額は55億4百万円となり前年同月比406.8%増と2か月ぶりに増加し、「地方の機関」からの受注工事額も54億8千8百万円となり前年同月比30.4%増と3か月連続で増加した。

(前年同月比：%)	9月	10月	11月	12月
受注工事総額(県内)	27.5	30.2	9.6	107.6
国の機関	308.2	15.7	-56.9	406.8
地方の機関	-28.4	34.8	29.7	30.4
受注工事総額(全国)	26.7	-17.3	9.3	-11.5

(5) 雇用情勢

- ・有効求人倍率は0.47倍となり、前月を0.02ポイント上回った。
- ・所定外労働時間指数は前年同月比16.1%増となり、2か月連続で上昇した。
- ・常用雇用指数は前年同月比1.5%減となり、10か月連続で低下した。
- ・名目賃金指数は前年同月比11.5%減となり、2か月ぶりに低下した。
- ・完全失業率(全国値)は5.1%となり、前月より0.1ポイント低下した。

(前年同月比：%)	9月	10月	11月	12月
有効求人倍率(三重県、倍)	0.42	0.43	0.45	0.47
" (全国、倍)	0.43	0.44	0.45	0.46
所定外労働時間指数	-7.2	-2.2	3.7	16.1
常用雇用指数	-1.5	-1.8	-1.0	-1.5
名目賃金指数	-4.3	-5.2	0.4	-11.5
完全失業率(全国)	5.3	5.1	5.2	5.1
(参考)完全失業率(三重県:推計値)	4.9(7-9月期)			

(6) 企業倒産

- ・企業倒産は8件発生した。負債総額は10億3千万円(前年同月比46.2%減)と3か月連続で前年同月比減となった。

(%：前年同月比)	9月	10月	11月	12月
企業倒産件数(件)	17	12	10	8
負債総額(%)	100.3	-52.6	-90.0	-46.2

(7) 消費者物価

- ・消費者物価指数(H17=100)は100.6で、前月比は0.1%下落、前年同月比では1.7%下落した。

(前月比、前年同月比：%)	9月	10月	11月	12月
消費者物価指数(4市平均)	0.1	-0.6	-0.3	-0.1
"	-1.9	-2.4	-1.9	-1.7
" (全国)	0.0	-0.4	-0.2	-0.2

3. 景気動向指数（CI 指数）

- 一致指数（景気の現状を示す指標）は 69.6 となり、前月と比較して 8.3 ポイント上昇した。一致指数からみる県内経済の基調は、改善を示している。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 7 か月連続で上回り 71.4%となった。

（前月差：ポイント）	9月	10月	11月	12月
CI一致指数	5.9	-1.2	5.3	8.3
3か月後方移動平均	3.0	1.1	3.4	4.1
7か月後方移動平均	2.2	2.4	2.5	3.7
DI一致指数（%）	85.7	57.1	85.7	71.4

- 先行指数（12月時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は 106.4 となり、前月と同数値となった。DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 2 か月連続で上回り、83.3%となった。

（前月差：ポイント）	9月	10月	11月	12月
CI先行指数	-2.3	12.0	5.5	0.0
3か月後方移動平均	1.5	1.9	5.1	5.9
7か月後方移動平均	2.0	4.1	4.2	3.4
DI先行指数（%）	41.7	50.0	66.7	83.3

